

# 守口市立よつば小学校

子どもたちが主体的に学び、地域と共に学ぶ風景を生む小学校

## 建物概要

- 所在地：大阪府守口市大久保町2丁目
- 設計者：株式会社昭和設計

- 建築主：守口市
- 用途：小学校

- 敷地面積：14,748.75㎡
- 建築面積：4,863.87㎡
- 延べ面積：10,666.08㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 階数：地上4階/地下1階
- CASBEE評価：Aランク/BEE値1.5
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.7/省エネ対策3.8  
みどり・ヒートアイランド対策2.7



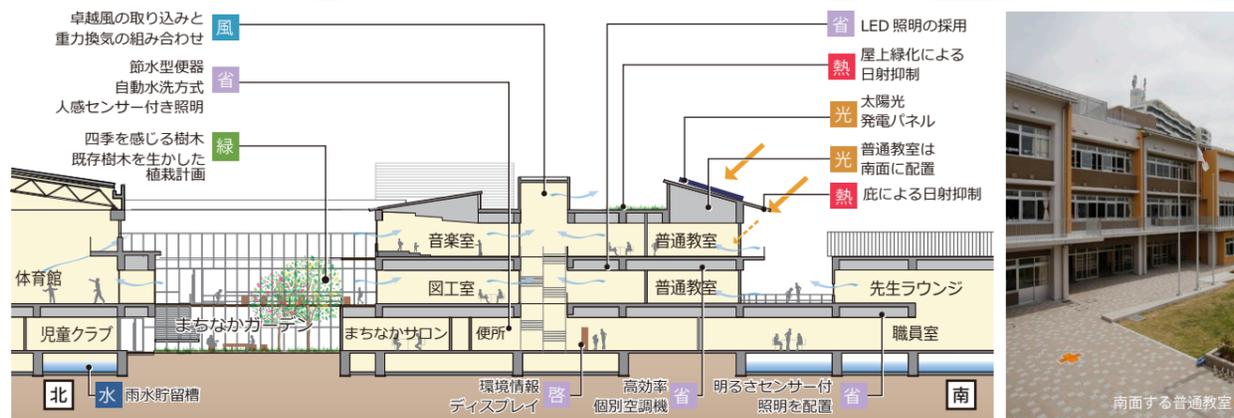
## 【立地、周辺環境】

本敷地は京阪本線大和田駅から徒歩15分に位置し、周囲は戸建て住宅が立ち並び、敷地北側は15階建てのマンションが隣接した複雑な敷地形状である。平成28年に、旧東小学校と旧大久保小学校が統合した。その後、旧大久保小学校の敷地に新校舎を建設し、平成30年に開校した。

## 【総合的なコンセプト】

「学校全体を学びの場にする」ことをコンセプトに、歴史ある地域の学校として旧校舎をなぞった建物配置や建物外形の細分化など、周辺環境の変化を最小限に抑えながら、アクティブラーニングのための新しい学習環境づくりを行っている。運動場の人工芝と天然芝、四季を彩る植栽、菜園や果樹園、通学路の歩道拡幅など、児童の生活環境面への配慮と同時に学習に活用できる環境をつくることを意図している。また設計段階からの地域住民の方のワークショップへの参加により、地域と学校をつなぐ空間づくりを計画し、地域に親しまれる「みんなの学校」を目指した。

## 建物断面構成図



## 環境配慮事項とねらい



### 学び、遊びにつながる緑豊かな環境づくり

生活の場として豊かな環境をつくるだけでなく、屋外空間が環境学習の生きた教材につながることを意図している。果樹園を中心に敷地内には季節ごとに様々な花が咲き、子どもたちの興味・関心を誘う。旧校舎から移設した日時計や屋根に設置した太陽光パネルも環境学習の教材となる。



### 一年じゅう緑、の景観づくり

運動場は人工芝のグラウンドとその周辺を天然芝で囲み、砂埃の抑制や児童のけが防止とともに、年間を通じて緑いっぱいの景観をつくっている。また、校舎まわりや敷地境界沿いには様々な種類の低木を植え、歩行者を楽しませる。



### まちぐるみの教育参加の可能性を広げる拠点の創出

設計期間中のワークショップで地域の方と新しい小学校での地域活動の可能性について話し合った。まちなかガーデンはまちなかサロン、郷土資料館、体育館など地域活動の拠点機能を取り囲む中庭である。また、敷地の一部を開放したまちかどひろばは、子どもたちの登下校を既存樹の桜と地域の方がやさしく見守る、憩いの広場である。

